

令和6年度 初任者研修資料

指導者用

初任者研修の手引

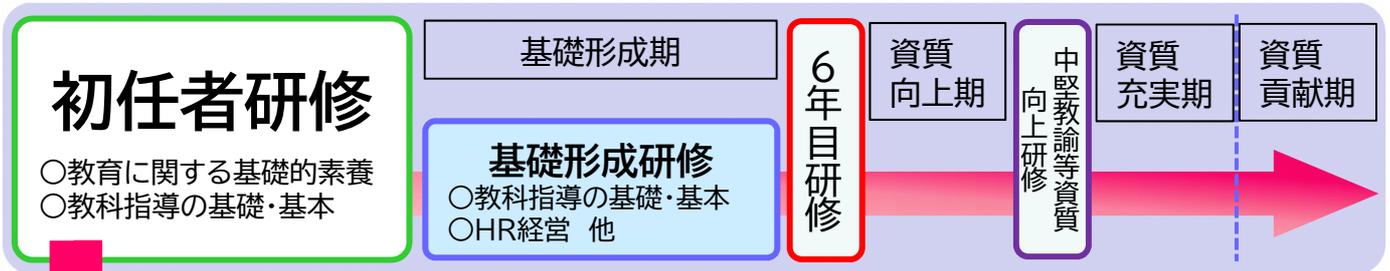
—高等学校用—



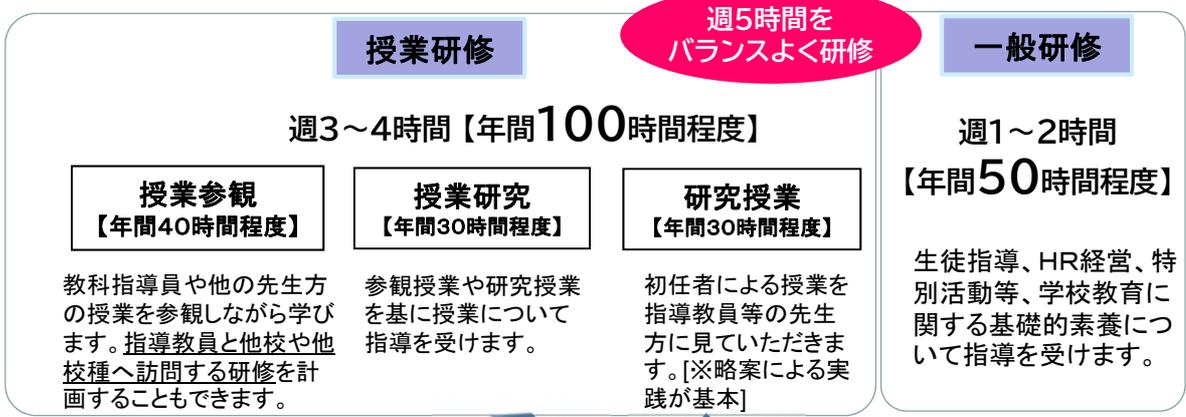
岐阜県教育委員会 教育研修課

自ら学び続ける教職員へ

経験年数に応じた研修



校内研修【年間150時間】 *教職大学院卒業者は、90時間以上
校内における具体的実践に基づいて、教科指導や生徒指導、進路指導等の研修をします。



校外研修【年間15日】

■一般研修（総合教育センター、県内高等学校、各勤務校〔オンライン〕等）

学習指導要領、ICTの活用、生徒指導、保護者連携、HR経営、発達障がいの理解と対応、教職員のサービス、文書管理、危機管理、学校会計事務、人権教育、主権者教育、ふるさと教育、社会人マナー、働き方、健康づくり、メンタルヘルス、キャリアデザイン、タイムマネジメント
クロス研修（メンター制・6年目研修と合同） 等

■教科別研修（総合教育センター及び県内高等学校）

教科の実践的指導力を高める基礎・基本について研修します。

■地区別研修（総合教育センター及び各地区高等学校）

各地域の生徒の実態を踏まえた教育実践を図るとともに所属地区の相互交流を深めます。

■ふるさと岐身体験研修

県内での体験的な活動を通して、「ふるさと岐阜」の豊かな自然、歴史、文化などの中で主体的に学ぶことで、「ふるさと岐阜」について理解を深めます。

■校種間交流（特別支援学校）

地区ごとに特別支援学校における教育の実際を学びます。

目次

1	校内研修と校外研修について	1
2	年間指導計画及び指導報告書の提出について	2
3	校内研修時間割編成（例）	3
4	校内研修 年間研修計画（例）	8
5	様式1 令和6年度 初任者研修年間指導計画（1）（記入例）	9
6	様式1 令和6年度 初任者研修年間指導計画（2）（記入例）	10
7	様式1 令和6年度 初任者研修年間指導計画（3）（記入例）	11
8	様式2 令和6年度 初任者研修指導報告書（記入例）	12
9	令和6年度 校外研修 年間研修計画	13
10	教員は学校で育つ！ ーメンター制のすすめー	14
11	メンターチームを導入した実践例 （県内で行われた例）	15

1 校内研修と校外研修について

(1) 校内研修について

- ・ 初任者の負担が大きくなり過ぎないように学校の年間行事計画等を参考に計画を立てること。
- ・ 校外研修の年間計画を参考に校内研修計画を立て、校内研修と校外研修相互から効果的に学ぶことができるようにすることが望ましい。
- ・ 校内研修の講師をする職員と連携をとって、研修のねらいを共有し、研修時間内だけで学びが終わることがないように指導すること。
- ・ 初任者の様子を見ながら、課題と思われることがあれば管理職と相談の上、校内研修の計画を随時変更して効果的な研修を実施すること。
- ・ 校内研修に位置付けられた研究授業については、初任者の担当する科目や、初任者の状況に応じて週時程で位置付けられた時間以外に実施してもよい。週時程に位置付けられる研究授業について、毎時間学習指導案を作成することは求めない。ただし、授業前、授業の授業研究において、初任者に対して十分な指導を行ったうえで研究授業を実施すること。また、「校外研修」教科別研修において、指導案の作成等が課されるため（時期は教科ごとに研修内や要項内で案内される）、適切な時期に指導案作成の指導を行うこと。

(2) 校外研修について

- ・ 第1回の校外研修前に校外研修に出る際にすべきこと（要項の確認、出張伺いの作成、指導教員等への連絡等）を管理職と相談の上、初任者に伝えること。
- ・ 校外研修では、初任者に提出文書を求めることがあるため、勤務校の文書決裁方法や決裁後の文書提出方法についても確認しておくこと。
- ・ 初任者に「教育実践の手引き 10 校外研修受講の注意事項 (p14)」を確認するよう指示すること。
- ・ 研修後の所属長への報告は、単に学んだ内容を報告するのではなく、学んだことや課題と感じたことをどのように業務に活かしていくかを伝えるよう指示すること。
- ・ 出張の復命も速やかに行うことを指示すること。
- ・ 校外研修を欠席した場合は、代替研修があることを伝えておくこと。また初任者が代替研修を実施する際は、相談にのったり、実施状況を確認したりするなどして、初任者任せにしないよう注意すること。
- ・ 岐阜県総合教育センターホームページの初任者研修の開催要項も随時確認し、初任者にも開催要項の確認を促すこと。

2 年間指導計画及び指導報告書の提出について

書式を大幅に変更しています。(1)～(5)をお読みいただき対応願います。

(1) 初任者研修実施要項及び年間指導計画等について

- ・初任者研修実施要項及び【様式1】【様式2】【様式3】については、岐阜県総合教育センターホームページの「経年研修資料」からダウンロードすること。毎年度必ずダウンロードし、昨年度の実施要項や様式を使うことがないように徹底すること。
- ・提出期限等は、「初任者研修実施要項 7 初任者研修関係提出書類の提出」に従って提出すること。

(2) 指導時間の関連一覧表【様式1】について

- ・書式が大幅に変更されているので注意すること。
- ・指導者用手引き p3～p7 で示している時間割編成(例)を、【様式1】に入力した場合が、指導者用手引き p9～p11 の記入例となります。

(3) 年間指導計画【様式2】について

- ・記入例を参考にして作成すること。
- ・令和6年度から部活動、校務分掌を記載することになっているので注意すること。なお、担任については、正担任、副担任が分かるように入力すること。
- ・研修時間数は、「初任者研修実施要項 3 内容」で示す研修時間(週5時間程度、年間150時間、このうち、年間100時間(週3～4時間程度)を授業研修、年間50時間(週1～2時間程度)を一般研修とする)とすること。なお、150時間を超えて計画することは可とするが、上限は165時間とする。

(4) 指導報告書【様式3】について

- ・記入例を参考して作成すること。
- ・【様式2】と同様に作成すること。
- ・研修時間が「初任者研修実施要項 3 内容」で示す時間を満たしているか必ず確認すること。

(5) 指導教員等の委嘱に係る具申及び連絡協議会の出席者の回答について

- ・年度当初に文書で依頼するので確認すること。
- ・【様式1】の指導教員、教科等指導教員を参考にして作成すること。

校内研修 時間割編成 (例)

校内研修 (週5時間) の内訳について

- 初任者は、「授業参観 (1時間)、授業研究 (1時間)、研究授業 (1時間)、一般研修 (1時間)、参般 (1時間)」を設定する。
- 指導教員、教科指導員については実施する研修を設定する。
- ※「参般」の1時間分は「授業参観」または「一般研修」のいずれかを実態に応じて実施する。

① 1人配置校

【例1】

指導教員：初任者の一般研修と国語の授業研修の両方を担当

初任者：A教諭	
担当教科	国語
担当授業時数	11時間
研修時間	5時間

	月	火	水	木	金
1		校外研修日	国語	国語	
2	国語				参
3			国語	般	
4	国語			国語	参般
5				国語	国語
6	国語		LHR	授	国語

指導教員兼教科指導員：B教諭	
担当教科	国語
担当授業時数	10時間
研修時間	5時間

	月	火	水	木	金
1	国語				
2			国語	国語	国語参
3		国語		般	
4	国語		国語		参般
5		国語		研	
6	国語			授	国語

【例2】

- ①指導教員：初任者の一般研修を担当し、数学の授業研修にも参加
- ②教科指導員：数学の授業研修を担当

初任者：A教諭	
担当教科	数学
担当授業時数	11時間
研修時間	5時間

	月	火	水	木	金
1		校外研修日	数学		参般
2	数学			数学	数学
3			般	数学	参
4	数学		数学研		
5			授	数学	数学
6	数学		数学		

指導教員：B教諭	
担当教科	理科
担当授業時数	10時間
研修時間	5時間

	月	火	水	木	金
1	理科		理科		参般
2		理科		理科	
3	理科	理科	般		参
4			研	理科	
5	理科	理科	授		
6				理科	

教科指導員：C教諭	
担当教科	数学
担当授業時数	16時間
研修時間	3時間

	月	火	水	木	金
1		数学			
2	数学	数学	数学		数学
3	数学		数学	数学	数学参
4			研	数学	
5	数学	数学	授		数学
6	数学	LHR		数学	

② 2人配置校

← 教科指導員による指導
 ← 指導教員による指導

- 【例1】 ①指導教員兼教科指導員：初任者2人の一般研修と英語の授業研修を担当
 保健体育の授業研修にも参加
 ②教科指導員：保健体育の授業研修を担当

初任者：A教諭					
担当教科	英語				
担当授業時数	11時間				
研修時間	5時間				
月	火	水	木	金	
1	英語			英語	
2		英語			
3	英語 研			英語 参	
4	授	英語	参般	英語	
5	般		英語		
6	英語	LHR	探究		

初任者：B教諭					
担当教科	保健体育				
担当授業時数	11時間				
研修時間	5時間				
月	火	水	木	金	
1			体育		
2				保健	体育
3	体育		体育 研	体育	参
4			参般		授
5	般		体育	体育	保健
6	保健			探究	

指導教員兼教科指導員：C教諭					
担当教科	英語				
担当授業時数	6時間				
研修時間	9時間				
月	火	水	木	金	
1	英語			英語	英語
2		英語			
3	研A		研B	英語 参	参B
4	授A		参般 B	参般 A	授B
5	般 AB	英語			
6					

教科指導員：D教諭					
担当教科	保健体育				
担当授業時数	14時間				
研修時間	4時間				
月	火	水	木	金	
1				体育	
2	体育	体育			保健
3		体育	研B	体育	参B
4	体育	体育	参般 B	体育	授B
5	保健				体育
6			LHR	探究	

- 【例2】 ①指導教員C：初任者2人の一般研修を担当し、数学と地歴の授業研修にも参加
 ②教科指導員D：数学の授業研修を担当
 ③教科指導員E：地歴の授業研修を担当

初任者：A教諭	
担当教科	数学
担当授業時数	11時間
研修時間	5時間

初任者：B教諭	
担当教科	地歴
担当授業時数	11時間
研修時間	5時間

	月	火	水	木	金
1	数学 研	校外研修日	数学	数学	般
2	参般			数学	
3			参		数学
4	数学		授	数学	
5				数学	数学
6	数学				数学

	月	火	水	木	金
1	地歴	校外研修日			般
2			地歴	地歴	地歴 研
3	地歴			参	参般
4			地歴	授	
5	地歴				地歴
6	地歴				地歴

指導教員：C教諭	
担当教科	農業
担当授業時数	7時間
研修時間	9時間

教科指導員：D教諭	
担当教科	数学
担当授業時数	15時間
研修時間	4時間

教科指導員：E教諭	
担当教科	地歴
担当授業時数	15時間
研修時間	4時間

	月	火	水	木	金
1	研A	農業	農業	般	A B
2	参般A	農業		研B	
3		参A	参B	参般B	
4		授A	授B		
5	農業	農業			農業
6		農業			

	月	火	水	木	金
1	研A		数学	数学	
2	参般A	数学		数学	
3		数学	数学		数学
4	数学		授A	数学	
5	数学	数学		数学	数学
6		LHR			数学

	月	火	水	木	金
1	地歴		地歴	地歴	
2		地歴			研B
3	地歴	地歴	地歴	地歴	参般B
4			地歴	授B	
5	地歴	地歴	地歴		地歴
6	地歴				地歴

③ 3人配置校

- 【例1】 ①指導教員兼教科指導員D：初任者3人の一般研修と保健体育の授業研修を担当
家庭と理科の授業研修にも参加
②教科指導員E：家庭の授業研修を担当
③教科指導員F：理科の授業研修を担当

初任者：A教諭	
担当教科	保健体育
担当授業時数	10時間
研修時間	5時間

	月	火	水	木	金
1	保健		体育		体育
2					保健
3	体育	校外研修日	体育研	参	
4			授	参般	体育
5	般			体育	体育
6					体育

初任者：B教諭	
担当教科	家庭
担当授業時数	11時間
研修時間	5時間

	月	火	水	木	金
1	家庭		家庭		参
2			家庭		参般
3	家庭	校外研修日		家庭	家庭
4	家庭		家庭	家庭	
5	般			家庭研	家庭
6				授	

初任者：C教諭	
担当教科	理科
担当授業時数	10時間
研修時間	5時間

	月	火	水	木	金
1	理科研		参		理科
2	授	校外研修日	参般	理科	
3					理科
4	理科		理科	理科	
5	般		理科	理科	
6					理科



指導教員兼教科指導員：D教諭	
担当教科	保健体育
担当授業時数	5時間
研修時間	13時間

	月	火	水	木	金
1	研C		参C		参B
2	授C	体育	参般		参般
3			研A	参	
4	体育		授A	参般	
5	般	体育		研B	体育
6				授B	

教科指導員：E教諭	
担当教科	家庭
担当授業時数	15時間
研修時間	4時間

	月	火	水	木	金
1	家庭			家庭	家庭
2			家庭		参B
3	家庭	家庭	家庭		参般
4		家庭		家庭	B
5	家庭	家庭	家庭	研B	
6		LHR		授B	家庭

教科指導員：F非常勤講師	
担当教科	理科
担当授業時数	2時間
研修時間	4時間

	月	火	水	木	金
1	研C		理科		
2	授C		参般		
3	理科		C		
4					
5					
6					

【例2】

- ①教科指導員D：保健体育の授業研修を担当
- ②教科指導員E：家庭の授業研修を担当
- ③教科指導員F：理科の授業研修を担当
- ④指導教員G：初任者3人の一般研修を担当し、家庭、理科、保健体育の授業研修にも参加

初任者：A教諭	
担当教科	保健体育
担当授業時数	11時間
研修時間	5時間

	月	火	水	木	金
1	保健		体育		
2					保健
3	体育	校外研修日	体育研	参	
4	体育		授	参般	体育
5	般		体育	体育	体育
6				体育	

初任者：B教諭	
担当教科	家庭
担当授業時数	10時間
研修時間	5時間

	月	火	水	木	金
1			家庭		参
2			家庭		参般
3	家庭	校外研修日		家庭	
4	家庭		家庭	家庭	
5	般		家庭	家庭研	家庭
6				授	

初任者：C教諭	
担当教科	理科
担当授業時数	10時間
研修時間	5時間

	月	火	水	木	金
1	理科研		参		理科
2	授		参般	理科	
3		校外研修日			理科
4	理科		理科	理科	
5	般			理科	
6	理科				理科

教科指導員：D教諭	
担当教科	保健体育
担当授業時数	14時間
研修時間	4時間

	月	火	水	木	金
1					体育
2	体育	体育	保健	保健	
3		体育	授A	体育	体育
4	体育	体育	授A	参般	体育
5	保健		保健	A	
6		LHR			

教科指導員：E教諭	
担当教科	家庭
担当授業時数	14時間
研修時間	4時間

	月	火	水	木	金
1	家庭			家庭	家庭
2			家庭		参B
3	家庭	家庭	家庭		参般B
4		家庭		家庭	
5	家庭		家庭	研B	
6		家庭		授B	家庭

教科指導員：F非常勤講師	
担当教科	理科
担当授業時数	2時間
研修時間	4時間

	月	火	水	木	金
1	研C		理科		
2	授C		参般C		
3	理科		C		
4					
5					
6					

指導教員：G教諭	
担当教科	国語
担当授業時数	3時間
研修時間	13時間

	月	火	水	木	金
1	研C		参C		参B
2	授C	国語	参般C		参般B
3			研A	参A	
4		国語	授A	参般A	国語
5	般ABC			研B	
6				授B	

校内研修 年間研修計画（例）

月	時数	研修項目	時数	主な研修内容	月	時数	研修項目	時数	主な研修内容		
4	13	① 授業研修	8	シラバス・年間指導計画 学習指導要領	10	15	① 授業研修	10	指導と評価の一体化		
		④ 基本的事項	4	教育公務員の使命と役割 初任者研修について 学校の教育方針と目標 服務規律と社会人マナー			② 生徒指導	3	生徒指導の事例研究 交通安全教育 心理テストの分析と活用		
		⑥ その他	1	防災・緊急時の対応			③ 進路指導	1	進路相談の実際		
5	15	① 授業研修	10	学習指導案・教材研究の方法	11	14	⑥ その他	1	中学校教育との接続		
		② 生徒指導	1	生徒指導と教育相談(いじめ対応等)について			① 授業研修	11	個別最適化された学び		
		④ 基本的事項	2	危機管理と文書事務処理 学校の組織と運営			② 生徒指導	1	教育相談の事例研究		
		⑤ 特別活動	1	部活動の在り方(メンタリング)			③ 進路指導	1	進路情報の収集と活用		
		⑥ その他	1	学校図書館の在り方	⑥ その他	1	先輩教員に学ぶ(メンタリング)				
6	16	① 授業研修	11	授業規律・テスト問題	12	11	① 授業研修	8	情報機器の活用		
		② 生徒指導	2	登校指導・生徒の実態把握			② 生徒指導	1	共感的生徒理解		
		④ 基本的事項	2	教務部の業務内容 P T A活動について			④ 基本的事項	1	個人懇談の進め方		
		⑥ その他	1	地域と学校の歴史			⑤ 特別活動	1	L H Rの活用について		
① 授業研修	8	主体的・対話的で深い学び	1	12			① 授業研修	8	生徒の実態に応じた指導の工夫		
② 生徒指導	1	休業中の生徒指導について			② 生徒指導	1	不登校生徒への対応				
③ 進路指導	1	進路指導の在り方			④ 基本的事項	1	学校評議員の役割				
④ 基本的事項	1	成績処理について			⑤ 特別活動	1	ホームルーム担任の役割				
⑥ その他	3	三者懇談の進め方・保護者との連携 人権教育について 情報管理・情報モラル			⑥ その他	1	学校用務員の業務について				
8	10	① 授業研修			6	発問・机間指導・ノート指導	2	10	① 授業研修	7	授業展開の工夫
		② 生徒指導	1	集団指導の進め方	② 生徒指導	1			個に応じた指導		
		③ 進路指導	1	小論文と面接指導	③ 進路指導	1			進路分析		
		④ 基本的事項	1	特色ある学校づくり	⑤ 特別活動	1			ホームルーム担任の役割		
		⑥ その他	1	心肺蘇生・A E Dの取扱い	3	4	① 授業研修	1	授業評価(まとめ)		
① 授業研修	12	観点別評価と評価規準	④ 基本的事項	1			指導要録の取り扱い				
② 生徒指導	1	身だしなみ指導	⑤ 特別活動	1			特色あるホームルーム経営				
9	16	③ 進路指導	1	キャリア教育について	⑥ その他	1	1年間のまとめ・来年度の抱負				
		⑤ 特別活動	1	特別活動について	① 授業研修	100時間					
		⑥ その他	1	農業体験学習	② 生徒指導	13時間					
		① 授業研修	12	観点別評価と評価規準	③ 進路指導	6時間					
									④ 基本的事項	13時間	
									⑤ 特別活動	6時間	
									⑥ その他(①~⑤以外)	12時間	
				授業研修 100時間		+ 一般研修 50時間					

■ 校外研修の年間計画を踏まえ、校内研修で事前に学んだことを校外研修での講義・演習・交流等により深める、あるいは、校外研修で学んだことを校内研修での実践等で深めるという「研修(学び)の往還」を意識して計画を立ててください。

令和6年度 初任者研修年間指導計画

記入例

クラス名、
正副の別
を記入

学校名	課程・学部
岐阜県立〇〇高等学校	全日制

1 初任者及び指導教員

初任者				指導教員	
職員番号	氏名	担当教科	HR・学級担任	職名	氏名
□□□□□	〇〇 〇〇	国語 部活動	1の5 副担 校務分掌	教諭	〇〇 〇〇
		男子バスケットボール	教務		

2 指導事項

月	実施日(曜)	研修項目		主な研修内容	指導形態	時間数	指導者				
		選択	項目				役職等	氏名			
4	8日(月)	④	基本的事項	教育公務員の使命と役割		1	校長	〇〇 〇〇			
	10日(水)	④	基本的事項	初任者研修について		1	指導教員	〇〇 〇〇			
	12日(金)	①	授業研修	参観授業	A	1	教科指導員	〇〇 〇〇			
	18日(木)	①	授業研修	授業研究	B	1	教科指導員	〇〇 〇〇			
	19日(金)	④	生徒指導	生徒指導と教育相談について		1	生徒指導主事	〇〇 〇〇			
	日										
		研修項目で①を選択した場合、必ずA～Cを選択 A：参観授業 B：授業研究			指導予定者の役職等と氏名を記入						
3	日										
	日										
	日										
	日										
	日										
		「①」の時間数と「A～C計」の時間数は同じになる									
研修時間数	研修項目別時間数						①の指導形態別時間数				
	①	②	③	④	⑤	⑥	総計	参A	授B	研C	A～C計
	2	0	0	3	0	0	5	1	1	0	2

■ 記入上の注意等

- 1 研修項目については、
①授業研修(年間100時間程度)
⑥その他(①～⑤以外の内容)特
- 2 「主な研修内容」については、
- 3 「①授業研修」の指導形態につ
A：授業参観 授業を参観し、研

年間の総研修時間数は「150時間」で計画する
*150時間を超過して計画してもよいが、165時間を上限とし、200時間を超えるような計画は作成しないこと
*本様式は「計画」であり、学校の実態に応じて計画を変更し校内研修を実施してよい

- B：授業研究 研究授業等についての事前・事後研究や、教材研究等を共に行い指導するもの。【30時間程度】
- C：研究授業 対象教員が研究授業を行い、指導教員や教科指導員が指導するもの。【30時間程度】
- 4 「役職等・指導者名」については、実際に指導した者。役職等は「校長」「指導教員」「教務主任」等。

令和6年度 校外研修 年間研修計画（案）

回数	期 日	形 態	研修項目 等	会 場	主な指導者
1	4月16日(火)	【高特養合同】 一般研修	初任者への期待／教職員の服務／文書管理・働き方改革・ハラスメント防止／新入職員のための健康づくり／危機管理（学校安全・防災等）／生徒指導／初任者研修について	【総合教育センター】	担当指導主事
2	4月23日(火)	【高特合同】 一般研修	社会人としての基礎・基本／人権教育／学校会計事務の理解／ふるさと教育／主権者教育／メンタルヘルス	【所属校】 (オンライン)	担当指導主事
3	5月14日(火)	【高】 教科別研修	学習指導要領の理解／教員1か月を振り返って／教科指導の基礎・基本①	【総合教育センター】	担当指導主事 教科担当指導主事
4	5月28日(火)	【高】 一般研修 教科別研修	ICT活用（情報モラル）／ICT活用（著作権）／ICT活用（ICTを活用した授業）／教科指導の基礎・基本②【教材研究と授業実践】	【総合教育センター】	担当指導主事 教科担当指導主事
	6月4日(火)				
5	6月18日(火)	【高】 地区別研修	学校見学・授業参観等／チームビルディング	【各地区高校】 地区別に会場を設定	会場校校長 担当指導主事
6	7月2日(火)	【高】 教科別研修	示範授業参観	【教科別各高校】 教科別に日程、 会場を設定	会場校校長 教科担当指導主事
	7月9日(火)				
7	6月から1月末 までの任意の1日	【高】 一般研修 ＊選択式	ふるさと岐阜体験研修		
8	9月10日(火)	【高特合同】 一般研修	教育相談／保護者対応に生きる話し方／発達障がいへの理解と対応／半年間を振り返って	【総合教育センター】	担当指導主事
9	9月17日(火)	【高特合同】 地区別研修	校種間交流【特別支援学校】	【各地区特別支援学校】 地区別に日程、 会場を設定	担当指導主事
	9月24日(火)				
10	10月1日(火)	【高】 教科別研修	校種間交流【中学校】／教科指導の基礎・基本③【学びの接続】	【総合教育センター】 教科別に日程を指定	教科担当指導主事
	10月8日(火)				
11	10月22日(火)	【高】 教科別研修	教科指導の基礎・基本④【授業実践と参観】	【教科別各高校】 教科別に日程、 会場を設定	会場校校長 教科担当指導主事
	11月5日(火)				
12	11月12日(火)	【高】 一般研修	クロス研修【メンター制の理解】	【総合教育センター】 地区別に日程を指定	担当指導主事
	11月19日(火)				
13	11月26日(火)	【高】 教科別研修	教科指導の基礎・基本⑤【教科特講】	【総合教育センター】	教科担当指導主事
14	12月3日(火)	【高】 地区別研修	研究授業【地域や生徒の実態に応じた指導】	【各高等学校】 地区別に日程 会場を設定	会場校校長 担当指導主事
	12月10日(火)				
15	2月4日(火)	【高特養合同】 一般研修 教科別研修	キャリアデザインとタイムマネジメント／2年目に向けて／教科指導の振り返り／ふるさと岐阜体験研修交流／経年研修の意義と受講について／初任者研修を終えるにあたって	【総合教育センター】	担当指導主事 教科担当指導主事

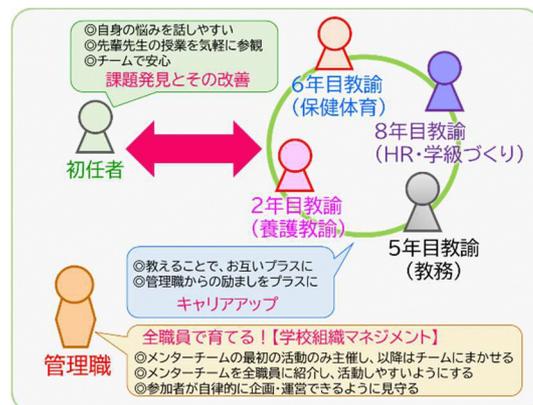
※ 令和6年3月現在の案です。確定した情報や詳細は、「教員研修申込システム」開催要項により、その都度周知します。
 ※ 各回の研修日が複数日で設定されている場合は、地区又は教科によって、いずれかの期日に設定されます。

教員は学校で育つ！ -メンター制のすすめ-

1 メンター制とは

人材育成の手法の一つで、「メンター」と呼ばれる経験者が、経験の少ない「メンティ」に対し手本を見せたり、支援をしたりすることです。

職場で自然発生的にメンターとメンティの関係が生まれることが理想ですが、意図的に生まれるように考えられたのがメンター制です。メンター制を具体的に機能させるためには、メンターチームが有効です。メンターチームとは校内において複数の先輩が複数の初任者や経験の浅い教職員と、継続的、定期的な交流し、信頼関係を築きながら、日常の活動を支援し、精神的、人間的な成長を支援することにより、相互の人材育成を図るものです。



【メンターチーム実施イメージ】

2 メンターチームのメリット

初任者研修のアンケート結果を見ると、関わりが深かった人として、年齢の近い同僚や初任者が多いということがわかります。指導教員等による研修に加え、近い世代でメンターチームをつくることによって気軽に相談し合い、相互に学び合うことが経験の浅い教職員の早期育成に有効であると考えられます。

また、こうしたメンターチームによる活動が、職場に「日常的に」「気軽に」「本音で」話せる雰囲気を作り出します。さらにメンターチームに多くの教職員を巻き込んでいくことで、人的ネットワークが学校全体に広がり、同僚性が高まります。

3 実施に向けて

(1)管理職がマネジメントする

管理職は経験年数の少ない教職員を取り巻く状況等を把握し、次のような手順で活動が始まるようマネジメントし、活動を見守ります。

- ①メンターチームの構成メンバーを決定する（経験年数、年齢、所属学年や教科等も考慮する）
- ②メンバーが相互に学ぶことができる適正な人数にする
- ③メンターチームの活動を通して、どのような力を身に付けてほしいかを伝える
- ④メンターチームの最初の活動は管理職主催で行い、活動をスタートさせるきっかけをつくる
- ⑤活動しやすいよう全職員にメンターチームの紹介をする

(2)経験年数に応じた研修との関連を図る

経験年数に応じた研修の在勤校研修で研究授業や授業研究を行う際、メンターチームを中心に組み組んだり、6年目研修で学ぶメンタリングの知識・技能を生かして、6年目の教職員が中心になってチームを運営したりするなどし、経験年数に応じた研修と関連させることでより充実したものになります。

(3)初任者研修(校内研修)におけるメンター制を活用した研修実施例

50分として計画 ※メンティ（初任者）1名につき、メンター2名を想定。

- ・司会者（初任者指導教員）：メンター制の解説 5分
- ・メンター（中堅教諭から選ぶ）による講義：初任者に伝えたいこと 15分
- ・メンター／メンティの面談：個別にメンティの悩みや質問を引き出し、場合によってはメンターからアドバイスを送る。メンティがなるべく多くのメンターに話や質問ができるように時間設定等を配慮する。20分
- ・メンティ（初任者）：本日の研修を振り返って学んだことを発表する 5分
- ・司会者（初任者指導教員）：全体講評 5分

※教科指導・分掌業務・生徒対応等メンティの課題に応じてメンターを選んで実施する。

メンターチームを導入した実践例(県内で行われていた例)

A 高等学校 **メンターチーム「〇〇会」**

～もともと学びたい、授業力をつけたい、指導力をつけたいと願って～

- <メンバー> 初任者、若手、中堅、ベテランの教員：約 20 名
- <開催日程> 月 1 回程度の実施
- <内 容> ・授業力向上（授業改善）、組織運営力向上（HR 経営・部活動運営など）、教員自身の人間力向上の 3 つを活動の柱とした。
・読書会形式、講演形式、問題提起形式、先輩教員を囲む形式で互いに学び合う研修とした。

工夫点及び配慮点

- ◇メンターチームを有効に活用して、メンターとメンティーの相互の人材育成を図った。
- ◇メンターチームと連携して、教科の枠を越えて授業参観が多くできるようにした。特にメンターチームの授業は、常時参観できるように工夫した。

B 高等学校 **メンターチーム「若者の会」**

- <メンバー> 初任者、若手、中堅の教員：17 名（平成 28 年度実績）
- <開催日程> 不定期（月 1 回程度）
- <内 容> ・学校課題についての意見交換や授業研究での学び合い

工夫点及び配慮点

- ◇担当教科の教員のみでなく、他教科の教員も交えてのグループ（年齢構成も多様）とした。
- ◇年配の教員が参加しない「若者の会」を結成し、自由に話せる環境を作った。
- ◇メンバーは 8 年目までの教員 4 人（講師含む）で構成。

C 高等学校 **「若手教師のための勉強会」**

- <メンバー> 初任者、若手、中堅の教員：約 15 名
- <開催日程> 月 1 回程度（後期より）
- <内 容> ・先輩教員に学ぶ（HR 経営、生徒指導）、教科指導での工夫の視点
・ベテラン教員を講師とした研修会、VTR を活用した授業研究会

工夫点及び配慮点

- ◇ベテラン教員を講師に迎え、豊かな教育経験や様々な工夫を学ぶとともに、若手教員相互の意見交流が活発になるようにした。

「2 年目、3 年目の先生方との懇談会」

- <メンバー> 初任者、若手の教員：約 5 名
- <開催日程> 初任者研修の一環
- <内 容> ・先輩教員に学ぶ（初任者の悩み相談、生徒指導、部活動指導などの失敗談）

工夫点及び配慮点

- ◇2 年目、3 年目教員との対談形式の懇談会で、初任者が直面している課題に先輩教員の類似体験を聞き、見通しや安心を与えるよう配慮した。

初任者にとって

- ・メンターチームのメンバーは年齢も近いこともあり、課題について和やかな雰囲気でも相談し合うことができた。
- ・初任者にとって、他の教員の教科、領域等の授業を参観する機会が確保されたことにより、具体的な実践を通して教科、領域等の指導について深く学ぶことができた。

メンターチームのメンバーにとって

- ・初任者に教えることで、メンターチームのメンバーにとっても深く考える機会となり、その後の意欲にもつながった。
- ・管理職からメンターチームの職員に対する価値付けがなされ、メンバーのやる気につながった。

校内全体にとって

- ・校内に「初任者を全職員で育てる」という気風が生まれた。また、初任者の研修について話題にすることを通して、職員の関係融和につながった。



令和6年度
初任者研修の手引
— 高等学校用 —

令和6年3月 発行
岐阜県教育委員会教育研修課
〒500-8384 岐阜市藪田南5-9-1
TEL 058-271-3326
FAX 058-276-6774